

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成18年9月28日(2006.9.28)

【公開番号】特開2005-58613(P2005-58613A)
 【公開日】平成17年3月10日(2005.3.10)
 【年通号数】公開・登録公報2005-010
 【出願番号】特願2003-295442(P2003-295442)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 D

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】
 【提出日】平成18年8月4日(2006.8.4)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項1】

遊技盤を見る窓が形成された前面扉を開閉可能に設けたパチンコ機において、
 前記前面扉は遊技盤を見る窓体と該窓体の周囲の窓枠体とを透明な樹脂材料により一体に形成すると共に該窓枠体の裏面に図柄意匠を描いた図柄意匠シートを装着したことを特徴とするパチンコ機。

【請求項2】

前記図柄意匠シートは、不透明な紙、樹脂、布製シートからなり、各種図柄意匠が表示されたものであることを特徴とする請求項1記載のパチンコ機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0009
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【0009】

本発明の請求項1の発明は、遊技盤を見る窓が形成された前面扉を開閉可能に設けたパチンコ機において、前記前面扉は遊技盤を見る窓体と該窓体の周囲の窓枠体とを透明な樹脂材料により一体に形成すると共に該窓枠体の裏面に図柄意匠を描いた図柄意匠シートを装着したことを特徴とするパチンコ機である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0010
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【0010】

本発明は上記の構成であって、窓体と窓枠体はいわゆる外側から内側が透けて見える樹脂材料で形成されており、この透明樹脂材料で遊技盤を見る前面の窓体が形成されるから、ガラス板のように容易に割れないから安全が図られ、また軽量で取り扱いが容易になる。

また窓枠体の裏面に図柄意匠シートが装着されており、窓枠体の前面即ち前面扉の前面から図柄意匠シートの図柄意匠が視認されパチンコ機の前面図柄意匠として表示される。この図柄意匠シートは例えば印刷容易な紙でも可能で、細かい各種カラーで表示されたキャラクターや、また写真画像なども自由に前面扉の前面に表示させる事ができる。

また中央部遊技盤の図柄意匠に連動して周囲の窓枠体の図柄意匠を表示させることが出来、従来の遊技盤のみの大きさの表示から窓枠体も含めた大きさの図柄意匠表示が行なえ、パチンコ機としての遊技者に与えるインパクト、迫力が大きく得られる。

更にこの前面扉の図柄意匠表示は、窓枠体裏面の意匠シートを交換するだけで、所望の図柄意匠の前面扉に形成できるため、従来のように異なる図柄意匠の別の前面扉と交換する必要がなく、容易にイメージが異なる、遊技者に新鮮な感じを与えるパチンコ機が設けられる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明の請求項2の発明は、前記図柄意匠シートは、不透明な紙、樹脂、布製シートからなり、各種図柄意匠が表示されたものであることを特徴とするパチンコ機である。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

図柄意匠シートは、印刷容易な紙や樹脂製のシートであってもよく、また自然の布生地を表示してもよく、図柄が織り込まれた布生地を表示するようにしてもよく、更にまた、印刷カラー表示に夜光塗料など特殊なインクで表示したものをを用いて、実際の使用される環境での照明具合に応じてカラー表示が変化する様に設けてもよい。これによって、これまでにない変化に富んだパチンコ機の前面表示が行えるものである。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

また、前記遊技盤を見る窓体と窓体周囲の窓枠体とを形成する樹脂材料は、無色透明ないし有色透明な樹脂材料である。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

例えば窓体と窓枠体をクリアな無色透明な樹脂材料で形成することができ、遊技者は遊技盤をクリアな透明樹脂版を通してみる事が出来、また図柄意匠シートは図柄意匠通りの状態で前面に表示される。

また窓体と窓枠体を成形する樹脂成形材料に各種カラーが入った透けて見える樹脂材料を用いて形成することもでき、この場合は、このカラー透明樹脂板を通して遊技盤を見ると共に図柄意匠シートの図柄がカラー表示される。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

本発明の効果は、窓体と窓枠体はいわゆる透けて見える樹脂材料で形成されており、この透明樹脂材料は通常、ガラス板のように容易に割れないから安全が図られる。またガラス板に比べて軽量で取り扱い容易な前面扉に形成でき、安全なパチンコ機にできる。

また窓枠体の前面即ち前面扉の前面から裏面に装着した図柄意匠シートの図柄意匠を視認できる。この図柄意匠シートは前面が透明な窓枠体であるから使用中に剥がれることがなく、また図柄意匠シートを交換するだけで前面扉の図柄を容易に替えることができる。更にシートは印刷容易な紙でよいから、これまで単色でしか表示できなかった前面扉の表示が、各種カラー表示することが出来、しかもカラーのキャラクターや写真画像などでも自由に表示させる事ができ、また中央部遊技盤の図柄意匠に連動して周囲の窓枠体の図柄意匠を表示させることが出来、従来遊技盤のみの大きさの表示から窓枠体も含めた大きさの図柄意匠表示が行なえ、パチンコ機としての遊技者に大きなインパクト、迫力でもって、しかも容易に図柄シートの交換だけで新規図柄の前面扉に出来るのでリサイクル性も非常に容易なものである。従って、従来のように、異なる図柄意匠の前面扉と交換せずとも、常に新鮮な感じで表現できるパチンコ機が非常に容易に設けられる。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

さらに、中枠 5 の前面であって、遊技盤 7 の前面にはパチンコ機の前面を形成し遊技盤を見る略円形状の窓体 6 がクリアな透明樹脂板で形成された前面扉 10 が左側の連結部 3 と連結金具 4 を軸に開閉自在に設けられている。前面扉 10 の開口部後方は、遊技盤 7 及び遊技盤の遊技領域 8 がある。前面扉 10 の下部には供給皿 12 を備えた上受け皿 11 が、また上受け皿 11 の下部には貯留皿 14 と灰皿 15 とを備えた下受け皿 13 が、左側の各連結金具に支持されて開閉自在に取り付けられている。外枠 2 の左側端に設けられているのはブリペイドカードユニット 9 である。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

前面扉 10 は、図 2 に示すように、前面扉の前面側に位置しポリカーボネイトのクリア透明樹脂で窓体 6 と該窓体 6 の周囲が一体成形された窓枠体 21 と、窓枠体 21 の裏面に装着した図柄意匠シート 31 と、該図柄意匠シート 31 の裏面で窓枠体 21 に一体に組付けたガラス枠体 41 とからなる。前面扉 10 の大きさは、図 1 のごとく全体がパチンコ機の上半分程度で、ほぼ正形状に形成されている。なお、窓体 6 と窓体 6 周囲の窓枠体 21 とを形成する樹脂材料は、無色透明に限られることなく、有色透明な樹脂材料であってもよい。

図 1、図 2 において、前面扉 10、即ち窓枠体 21 の前面上部にランプ飾り 22 が突出して設けてあり、このランプ飾り 22 の両側に凸レンズで卵形状の飾り窓 23、23 が、また前面下部両側に円形の表示窓 24、24 が設けてある。上記の各ランプ飾り 22、飾り窓 23、表示窓 24 には、それらの各後部に LED ランプや表示シールが装着されてお

り、遊技状態の変化に応じて各窓のランプが点滅し、各窓 2 2、2 3、2 4 の表示状態に応じてゲームの進行状態を遊技者に知らせるようになっている。

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 4】

裏面に固定するガラス枠体 4 1 は、窓枠体 2 1 より一回り小さいほぼ正方形の枠であって窓枠体 2 1 の窓体 6 とほぼ同寸の円形開口部 4 0 を備え、また裏面に遊技盤 7 を覆うほぼ正方形ガラス板 1 枚を装着するガラス板挿入レール 4 2 を両側部と低部に設けている。

このガラス枠体 4 1 は通常樹脂製で、前部の窓枠体 2 1 とビスや取り付け具で固定し又は窓枠体 2 1 から突出す矢尻状の係止突起に嵌合し、窓枠体 2 1、前記図柄意匠シート 3 1 と一体に固定される。裏面のガラス板挿入レール 4 2 には、ほぼ正方形のガラス板が 1 枚挿入され、前面の窓体 6 と共に 2 枚の透明体を介して遊技盤が視認される。